

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)(案)

令和8年1月22日

協議会名:高知市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー確保維持計費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社さくらハイヤー	鏡地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	<p>〈前回の評価結果の概要〉 利用者や事業者からの聞き取り等により、さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに、利用者減少の要因を精査しつつ、目標達成水準の維持を目指す。 引き続き、新規利用者獲得に向けた取り組みも継続する。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取、事業者との定期的な意見交換を行った上で、引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり、生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで、利便性の向上と新たな利用者の獲得、収支率の改善を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	<p>【目標達成率】 ○利用者数:87.0% (目標:1,180人/年) ○収支率:100% (目標:15%以上) ○公的資金投入額(高知市負担額):99.5% (目標:2,541千円以上)</p> <p>【利用者数】1,027人/年 (対前年比:83.0%) (対前々年比:87.1%) 【1便あたり利用者数】1.15人 【収支率】15.0% (対前年比:93.8%) (対前々年比:98.7%)</p> <p>利用者数及び公的資金投入額が目標を下回った主要因は、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。 (運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。)</p>	他市の事例を研究しつつ、利用者や事業者に聞き取りを行う等、新たな利用者の獲得と利便性向上を目指す。

株式会社第二さくら交通	土佐山地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	<p><前回の評価結果の概要></p> <p>利用者や事業者からの聞き取り等により、さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに、利用者減少の要因を精査しつつ、目標達成水準の維持を目指す。</p> <p>引き続き、新規利用者獲得に向けた取り組みも継続する。</p> <p><評価結果の反映状況></p> <p>地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取、事業者との定期的な意見交換を行った上で、引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり、生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで、利便性の向上と新たな利用者の獲得、収支率の改善を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	B	<p>【目標達成率】 ○利用者数:85.5% (目標:3,970人/年) ○収支率:106.7% (目標:9%以上) ○公的資金投入額(高知市負担額)=:96.5% (目標:9,735千円以上)</p> <p>【利用者数】3,393人/年 (対前年比:94.4%) (対前々年比:85.6%) 【1便あたり利用者数】 1.23人 【収支率】9.6% (対前年比:103.2%) (対前々年比:104.3%)</p> <p>利用者数が目標を下回った主要因は、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。(運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。) なお、土佐山学舎の通学便も集約しているが、地域間幹線バスとの乗り継ぎを想定していないダイヤ設定のため、各目標値及び実績値からは除外している。 (※令和7年度の通学便の利用者は5,501人。)</p>
						他市の事例を研究しつつ、利用者や事業者に聞き取りを行う等、新たな利用者の獲得と利便性向上を目指す。